

互いにエール送る

南町
紫市場

被災地・大槌から鹿子踊

気仙沼

岩手県大槌町と気仙沼との交流イベントが4日、気仙沼市南町の「紫市場」で開かれ、

同町の伝統芸能「白澤鹿子踊」が早期復興、商売繁盛などを祈願した。

被災地で医療機関などを支援しているNP

O法人AMDA（アムダ）の主催。「つながろう大槌・気仙沼」を

合言葉にした被災地同士の交流で、大槌町の高校生や仮設商店街の店主らが来市した。

大槌町の伝統芸能白澤鹿子踊は約400年の歴史を持つ。地元

秋祭りでは大漁と豊作を祈り、町内を練り歩く。この日は8体の鹿

が敷地内を練り歩き、勇壮な舞いを披露。鼓や笛、威勢の良い声を通りに響かせ、商店主や地元住民を気づけた。

祭り会場では、新地での発展を祈願する「後ろだち」の踊り披露され、気仙沼の期復興と紫市場の発願を願った。

この後、大槌町を心に活躍する音楽集の「和美東」、気仙沼少女グループSCKが歌や演奏を披露し



な舞で住民らを元気付ける白澤鹿子踊